(9) 日本国特許庁 (JP)

① 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭57-68772

⑤Int. Cl.³ A 23 L 2/00 識別記号

庁内整理番号 7235-4B 砂公開 昭和57年(1982)4月27日

発明の数 1 審査請求 有

(全 1 頁)

のステビアエキスを利用した清涼飲料の製法

②特 願 昭55-144772

②出 願 昭55(1980)10月13日

⑫発 明 者 寺西輝高

宮崎市谷川町1丁目4番16号

②発 明 者 小野信夫

宮崎市福島町寺山3112番地93 ②出 願 人 寺西輝高

宮崎市谷川町1丁目4番16号

①出 願 人 小野信夫 宮崎市福島町寺山3112番地93

個代 理 人 弁理士 豊留勉

thi all all

1: 逆明の名称

ステビアエキスを利用した清涼飲料の製法

2:特許副求の範囲

ステピアの選幹を犬目で 4~5日総線して小さく 組み通過で金で減り、頭りあがった選降50m に対し水1リットルの割合で海圧釜で煮込みステビフェキスの通量を がまたに混合し適量の股酸を加えたステピアエキスを利用した潜波飲料の股酸を加えたステピアエキスを利用した潜波飲料の製造。

3:発明の詳細な説明

本発明は甘採料としてステピアの敵を利用した 請該飲料に低る。ステピア(ステピア・レバウディアナ・ベルトニー)はキタ科の多年生の産本で 住職の動い植物で过さは砂糖の助格で脳液地はバ ラグアイはで現在日本各地で栽培され時に富腐、 聴児品等信九州で多く栽培されている。現在ステ ピアの弱を乾燥して抽出精製したステピアウィド はガム、アイスクリーム、ブリン、ピスケット等

菓子組に用途が広がりつ々あり、砂糖の代替物と してのステビアは映習に於いて砂糖に近いもので グルチルリチン、スイロズルチン等の様に残味が 長くなく後味は砂糖に近いものであり、又排性は 聯(化合物安全性研究所)に於いても8.2 グラム バーサロ以上という結果で人体には無害であり発 ガン性についても全く問題はない。ステビアは犬 _ 然物で厚生省の取扱は砂糖と同じであるが砂糖は 口から入つて胃を通つてじん臓を縫て尿となり排 せつされるがステビアは体内で代謝されないので ノンカロリーである。現在ステピアの繁は精製さ れてステビアサイドを抽出しているが茎幹は廃涎 している。この窓幹を天日で4~5日乾燥させて 後小さく刻み適温で養で顔り上げて後この刻んだ 滋辞80gに対して水1リットルの割合で福圧釜で 最込みステビアエキスを抽出する。このステビア エキスは発降性がなく、高熱に変化せず、アルカ り、確に印和しないエキスでありこれを炭酸水に 混入して甘味ある清涼飲料を得ることが出来る。

PAT-NO: JP357068772A **DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 57068772 A

TITLE: PREPARATION OF REFRESHING DRINK USING

STEVIA EXTRACT

PUBN-DATE: April 27, 1982

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY

TERANISHI, TERUTAKA

ONO, NOBUO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY
TERANISHI TERUTAKA N/A
ONO NOBUO N/A

APPL-NO: JP55144772

APPL-DATE: October 13, 1980

INT-CL (IPC): A23L002/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To prepare a sweetened refreshing drink, by mixing drinking water with extract of the stalks of Stevia rebaudiana Bertoni, and carbonating the mixture.

CONSTITUTION: Stalks of Stevia rebaudiana Bertoni are dried for 4-5 days in the sun, chopped to small pieces, and roasted in a pan at a proper temperature, 80g of the roast Stevia stalk is boiled in 11 of water in a high-pressure kettle to obtain Stevia extract which is free from fermentability, resistant to high temp. and resistant to neutralization with an alkali or an acid. The Stevia extract is added to carbonated water.

COPYRIGHT: (C)1982, JPO&Japio